

真岡市議会議員

お世話になります!

# 中村かずひこ通信

vol.3

【発行元】中村かずひこ未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285



「MOP21」見学より



市長と意見交換より

## ごあいさつ ~真岡市政『総決算』の年に~

皆様の温かいご支援により、真岡市議会に送り出して頂いてから、早8ヶ月がたちました。今年も、真岡市にとって市制施行50周年の節目の年です。加えて、市町合併という大事業も目前に控えております。真岡市政の『総決算』として、市民により満足度が高い、そして新しい市にとってもモデルケースとなりうる、各種施策・サービスを打ち出す必要があります。

そのような時期に、皆様から貴重な議席を預かる者の一人として、責任の重さを痛感しております。今年も、①住民参加の充実 ②新産業の育成 ③『環境第一主義』の徹底 ④政治・行政倫理の確立という当初に掲げた公約の実現に向けて全力で頑張りたいと思います。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

真岡市議会議員 **中村 和彦**

公職選挙法により、議員が年賀状による新年のあいさつを行うことは禁止されております。ご了承下さい。

## 一般質問が実現しました!

# 『ライブラリー教室』が青年女性会館へ移転

中村が9月議会の一般質問で取り上げた『ライブラリー教室』（真岡中学校内）が平成16年度から青年女性会館へ移転することが正式に決まりました。

これまで「不登校児を受け入れる場が学校にあるのはおかしい」と各方面から批判を受けて来ましたが、今回の移転により、その環境が大きく改善されることとなります。

※ご尽力いただいた関係各位に心から感謝申し上げます。

## より高き理想を求めて... 12月議会 一般質問

「12月定例議会」の質疑・一般質問が11日(木)、12日(金)の2日間にわたって行われました。

中村は今回、12日の2人目として登壇し、

1. 市町合併における住民投票について
2. 中心市街地の活性化について
3. 障害児の教育・福祉について
4. 国際交流事業について
5. 自然環境の保全について

について一般質問を行い、執行部の考えを質しました。

特に住民投票の問題については、再々質問にまで及び、白熱した議論を展開しました。



(中面に関連記事)

## “若いチカラ”で政治を変えよう!

~『未来をつくる会』月例会より~

私たち『未来をつくる会』では、中村の当選以後、月1回のペースで意見交換会を開いています。

これまで、政治やまちづくりにあまり関心のなかった若い世代が今、真岡市の様々な問題について語り合っています。

ぜひ、皆さんも一度お気軽にご参加下さい。



12月月例会の様子

【お問い合わせ】

**TEL.82-6285 (中村宅まで)**

## 市民と市政のかけ橋になりたい!

☆お気軽にお声をかけて下さい。

お友達との井戸端会議、勉強会等。2~3人でも結構です。どこへでもお伺いいたします。

☆あなたのアイデアを市政にいかしたい!

お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を!

(中村宅) TEL.82-6285 e-mail tonpei@i-berry.ne.jp

ぜひお越し下さい!

【第1回】

## 中村かずひこ 市政報告会

日時: 1月23日(金) PM7:00

会場: 大谷公民館 (高岡酒店西側)





質問:中村かずひこ

# 中村かずひこ議会レポート

## 12月定例議会

答弁: 福田 武隼 市長  
沼生 圭市 教育長  
中里 朋三 保健福祉部長

### 市町合併における住民投票 について

**質問** 真岡市は10月1日に二宮、益子、市貝、茂木の4町と、『芳賀地区合併推進研究会』を設立し、合併に向けた準備が着々と進められている。しかし**合併という大事業の中で、市民の意向がどこまで反映されるのか大いに疑問**が残る。6月議会でも質問したが、**住民投票を行う考えはないのか。**



**答弁** これまで**市民アンケートや話し合い事業などで、市民の意向把握**に努めてきた。**住民投票については、執行部と議会の目指す方向が違う場合には考えられるが、真岡市では同じ考えと認識しており、必要がないと判断した。**今後、市民の意向把握については、**新市建設計画アンケートなどで、新市のまちづくりに活かしていきたい。**

### 中心市街地の活性化 について

**質問** 今、真岡市の商店街を歩くと、閉店を余儀なくされた個人商店が数多く見られ、シャッター街の様相を呈している。しかし、本市の商店街活性化事業は、ハード面の事業やイベント事業だけに視点が注がれ、「**どういう商品をどのように売るか**」については触れず仕舞いだったと思える。**店主などを対象にした研修の場を設ける必要性があるのではないか。**



**答弁** 真岡市ではこれまで『**中心市街地活性化基本計画**』などを策定してきた。しかし、**店主たちの意欲を促すために、研修については行政主導ではなく、商工会議所や商店会連合会を中心に進めることが望ましい。**市としても、そうした研修には積極的に支援していきたい。

**質問** 商店街の問題は本来、消費者のニーズなども絡むので決して単純ではない。**店主と消費者が、商店街の問題や魅力ある商品の開発について意見交換する場が必要ではないか。**

**答弁** 消費者に喜ばれる商店街づくりのために、消費者の『生の声』を聞くことは有効な手段だ。商店街連合会などと連携し、**消費者懇談会などの場を設けていきたい。**

**質問** **空き店舗対策について、今後どのような形で取り組むつもりなのか。**6月議会では「**空き店舗をボランティアやNPOなどに貸し出しては**」と質問したが、その件についても現在の考えを聞きたい。

**答弁** 核家族化や高齢者が進む中で、**交通弱者に対して宅配や買い物代行など、日常生活の利便性を図ることが方策として挙げられる。**また、そうした方々を対象にした**デイケアセンターやNGO・ボランティアの活動拠点などを、市の中心部に整備**させていきたい。さらに**回遊性の促進を図るため、行屋川や木綿工房などを有効に活用し、必要に応じた休憩・食事・交流の場を設けたい。**

### 障害児の教育・福祉 について

**質問** 平成17年度から障害児教育の制度が見直され、LD(学習障害)やADHD(注意欠陥多動性障害)の児童も対象になるようである。つまり、障害児教育が必要になる児童数が絶対的に増えるので、**現場の先生方の不安は計り知れない。**また、障害児の親からも「**小学校入学時、誰に相談をしいか分からなかった**」という声寄せられている。そこで、双方の相談相手として、**教育委員会に、障害児教育の専門知識に富んだ人材をコーディネーターとして迎え入れてはどうか。**



**答弁** 芳賀郡市内の全小中学校は、**本年度から2年間『特別支援教育推進体制モデル事業』の指定**を受けた。この事業は、校内に委員会などを設置し、児童生徒の実態把握を行うとともに、指導方法について検討を行うものであり、各施策をスタートさせたところである。提言の「**教育委員会の中にコーディネーター**」は理想だが、**障害児教育専門である益子養護学校のご協力をいただくことが、より現実的だと考える。**

**質問** 長田の『**心身障害児通園ホーム ひまわり園**』は中村小学校旧長田分校(築40年)を使用しているため、**建物や遊具施設の老朽化が激しい。**また、制度的にも、親と一緒に通園しなければならないため、**父子・母子家庭の入園が実質不可能という問題**がある。こうした課題について執行部はどう取り組むつもりか。

**答弁** 雨漏りの修復、ブランコの改修については既に完了した。他の**遊具施設は計画的に更新したい。**制度面については、ひまわり園の指導内容が家庭生活の延長線上にたったものであること、また保護者同士の交流がお互いの悩みの解消に役立つという理由から、**今後も保護者同伴が望ましいと考える。**同伴が不可能な場合は、それぞれのケースに応じて対応している。

**質問** 田町の**子育て支援センター内にある『ことばの教室』**は、言葉の発達に遅れが見られる就学前の子どもを対象にしている。しかし、**同センターは何ら障害を持たない子どもとその親も集まる場所である。**『ことばの教室』に通所している子ども達の親からは「**周囲の視線にさらされながら教室に通うのは苦痛だ**」という声が出ている。移転など改善の余地があるのではないか。

**答弁** もともとは青年女性会館にあったが、間借りのために常設出来なかったことから、平成12年に子育て支援センターオープンに合わせて移転した。これまでも、**出入り口を別に設けるなど、プライバシーにも配慮してきた。**言葉を覚えるためには、**他の子ども達と触れ合う機会が重要**であり、そうした観点からも、**現施設のまま利用したい。**

### 国際交流事業 について

**質問** 真岡市は昭和63年に、**アメリカ・グレンドーラ市(カリフォルニア州)**と姉妹都市関係を結び、以後、**中学生を中心に交流事業**を進めてきた。(市内6中学校のうち4校が海外の学校と姉妹校関係)しかし今後、**市町合併が進んだ場合、姉妹都市・姉妹校の関係は継続出来るのか。**また、海外の学校と姉妹校関係を結んでいない2つの中学校はどうするつもりか。



**答弁** 新自治体発足後も、**グレンドーラ市との姉妹都市関係と、4つの中学校の姉妹校関係については継続出来るよう取り組んでいく。**なお、現在は海外との交流事業を行っていない2つの中学校については、相手校の選定など幾つかの課題があるため、**姉妹校関係の早期締結は難しい状況である。**



## 国際交流事業 について



**質問** 中学校の国際交流で特筆すべきは、長年緊張関係が続く、台湾と中国の双方と親睦を深めている点である。今年は、台湾・正心高級中学（真岡西中と交流）と中国・北京第五中学（大内中と交流）が、ともに真岡を訪れる予定だったが、さきのSARS騒動で中止となった。来年はどうするつもりか。仮に両校が同じ時期に真岡へ来るなら、東アジアの歴史においても意義深いことだが、今まで以上に慎重な対応が求められると思うが。

**答弁** 来年度は、先方の意向により（正心高級中学が真岡西中を訪問し、大内中学校が北京を訪問）真岡へ同時に来ることはなくなった。しかし、台湾側にも北京側にも、真岡市の中学生が両方と交流していることについては、すでに理解が得られており、今後の交流の妨げにはならないと考えている。

**質問** 中学生の国際交流は年々進歩しているが、私達一般市民は姉妹都市であるグレンドーラさえ、どのような市なのか知る機会が余りない。現在の国際交流事業を、より発展させていくなれば、一般市民レベルの交流をどう進めていくかは重要なテーマだと思うが。

**答弁** この件については、今後の大きな課題であると認識している。真岡市では昭和62年に『真岡市海外友好協会』を設立し、現在私（福田市長）が会長を務めている。今後は多様な交流方法を展開していくことが大切であり、将来的には協会の運営も含めて、民間に委ねていくことが理想だ。

## 自然環境の保全 について



**質問** 自然環境の豊かさは、真岡市が誇るべき特性であろう。しかし平成3～14年の間に市内では、井頭公園1.5個分の森林を失っている。（145ha）執行部として、こうした状況をどのように受け止めているのか。

**答弁** 現在、亀山地区土地区画整理事業地内にある平地林の一部を「市民の森」として残していくことを考えている。今後も、平地林や水辺などの自然環境を保全するための取り組みを行っていく。

**質問** 現在策定中の『環境基本計画』にはどのような内容が盛り込まれ、いつ頃発表される予定なのか。

**答弁** 市内各地域の特色を活かした取り組み内容や、市民・事業者・行政が目標に向かって、今後10年どのような行動をすべきかなどを盛り込んだ実効性のある計画を策定することになる。

**質問** 『環境基本計画』を実施するためには、市民の理解・関心が何よりも必要であり、計画を協働で作った実感を持ってもらうことが大切と考える。計画策定にあたって、市民はどのような形で意見を述べる事が出来るのか。

**答弁** 市民には、策定段階ごとに広報紙などで知らせ、その都度意見を聞きながら原案を検討することにより、市民の意向を大いに反映した計画にしていきたい。

## 再質問



### 市町合併における住民投票について

**質問** 市民に対する説明会は、市町間の温度差が見られた平成14年11月～平成15年3月の期間にしか開催されておらず、十分とは思えない。また、今後行われる市民アンケートは合併の是非を問うものではない。皆さんが築き上げ、我々の世代も愛着を持って住んでいる真岡市の歴史に終止符を打つ手続きが、これ程簡単でいいのだろうか。合併にあたっては、市民の誰もが納得出来るプロセスが必要だと考える。そこで、①6月議会では住民投票について「前向きに検討する」と言っていたが、なぜやらないことになったのか。②法定協議会立ち上げ後から、新市スタートまでの期間についても、市民に是非を問うつもりはないのか。お聞きしたい。

**答弁** 1市4町でまとまってきた現時点で、仮に真岡市が合併反対を表明すれば、他の町に失礼である。またアンケートなどについても、どれ程市民から意見を集めればよいのか疑問であり、有効な手段とは思えない。

### 障害児の教育・福祉について

**質問** ひまわり園については、現在3名いる職員を増やすことにより、父子・母子家庭を対象にしたサービスの向上が図れるのではないか。

**答弁** 父子・母子家庭については幼稚園や保育所に通いながら、ひまわり園に週1回通所するなど現時点でも実例がある。利用者からの不満があるならば、今後応えていきたい。

**質問** 言葉を覚えるために、他の子ども達との触れ合いが大切ということだが、そういうことなら、言葉を学んで覚える場所と、遊びながら覚える場所は別でも問題ないのではないか。私が調べたところ、子ども達の親13名中9名までが、「現状に不満。可能なら移転」と考えている。（全児童数34名）執行部は親の声をどこまで把握しているのか。

**答弁** 以前、子育て支援センターの園庭で、『ことばの教室』の所に柵を設け、プライバシーの確保に努めた際、「差別ではないか」という意見が出された。一概に移転が正しい方策とは言い切れない。この件については、専門家や親たちと協議して検討したい。

## 再々質問



### 市町合併における住民投票について

**質問** 「1市4町でまとまってきたから」と言うが、だからこそ市民の間でも、合併の関心が高まってきたのではないだろうか。今こそ合併の是非を問う必要があるのだと思う。そもそも『住民参加』は市長の公約だったはずである。合併はまさに住民参加を推し進める最たるものではないのか。一体、市長の考える『住民参加』とは何なのか。また、再質問の②についても、ご答弁いただきたい。

**答弁** 市民の代表である議員の話聞くことも住民参加の一環だと考える。またこれまで、地域の懇談会などについても積極的に進めてきた。法定協議会立ち上げ後、合併への不参加を表明することは可能だが、相手先に配慮すべきだろう。そうした中において、市民に一体何を問えというのか。また、市民に対する合併の周知は、現在の流れで問題ないと考えている。



特集

平成16年1月1日

# 法定合併協議会が設置

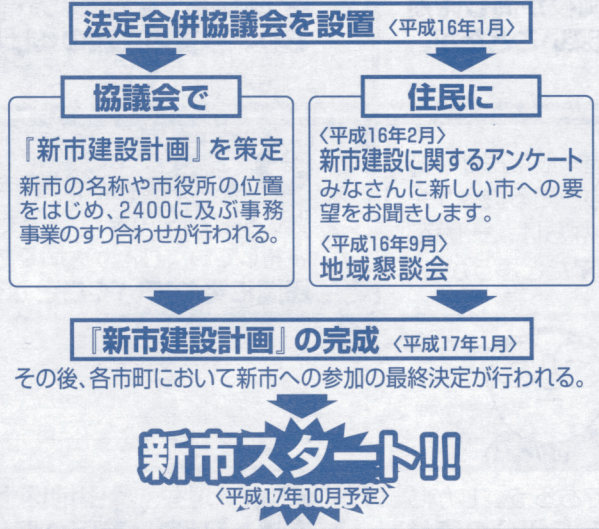
## いよいよ1市4町で合併へ

真岡市議会は12月定例議会の最終日にあたる12月18日(木)、『法定合併協議会』の設置を賛成多数で可決しました。(賛成23・反対2・退席1)

これにより、1月1日から『法定合併協議会』がスタートし、今後周辺の4町(二宮、益子、茂木、市貝)と合併に向けた本格的な話し合いが進められることとなります。

なお、中村は18日の議決の際「重要な手続きが明確に示されていない」との理由から『退席』の立場をとりました。

## 合併までのプロセス



## 私が『退席』した理由

中村 かずひこ

私はもともと市町合併については積極推進の立場をとっています。それぞれに個性的でありながら、歴史的なつながりも強い芳賀郡市が1つになれば、これまで以上にユニークなまちづくりが出来ると思うからです。

しかし、それはあくまでも住民が納得するためのプロセスを踏んだ上で、という条件付きです。住民不在の合併は、将来必ずや郷土意識の希薄化や、地域間の対立などが生まれ、決してプラスにはならないと考えています。

今回の合併論議はまさに、真岡の将来について市民1人1人が、考え、悩み、見つめ直すまとない機会です。だからこそ、住民投票(あるいはアンケート)という形で合併の是非を問うことが必要なのだと思います。

しかし、今回、執行部からはそうした手続きについて示されることはありませんでした。合併には賛成ですが、手続きについて不明確なため、承諾することが出来ず、『退席』という立場をとりました。ぜひ、市民の皆様におかれましては、私のそうした思いにご理解を頂けたら幸いです。今後とも「市民の声が反映された市町合併」という理想に向けて執行部に訴えていく所存であります。

## 新しい市の姿

1市4町で合併をした場合、新しい市はこのような姿になります。  
(平成12年度国勢調査・平成14年度普通会計決算より)

現人口	64,648人	合併後人口	137,122人
現在財政力	自主財源率/65.6% 財政力指数/0.838	合併後財政力	自主財源率/53.8% 財政力指数/0.626

※人口規模、財政力ともに足利市と同程度の市が生まれることとなります。

## 新世紀・公明クラブ 会派視察研修

10月6日～8日にかけて、中村が所属する会派「新世紀・公明クラブ」では、大分県豊後高田市と福岡県小郡市へ会派視察研修に赴きました。

今回は、①中心市街地商店街の活性化策 ②運動公園の整備 の2つがメインテーマでした。



豊後高田市にて

全国的に注目を集めている「昭和の街」商店街を視察。景観を昭和30年代の街並みに統一したこだわりは勿論だが、各種研修会や「1店1品運動」を通して、店主たちの意識改革に取り組んでいる同市の姿勢に感銘を受けた。



小郡市にて

真岡市民からも希望の声が多い「運動公園」。同市では年間の維持費が1億5千万円(!)かかるのだとか。施設の素晴らしさに驚く一方で、市の単独事業として進めることの難しさを改めて痛感した。

今回の視察では、下記の金額が公費でまかなわれました。  
(3日間:議員1人あたり)

総額	108,700円	出所	政務調査費
内訳	交通費、宿泊費、相手先みやげ代		

※当然のことですが、視察中の飲食代は、全て議員の自費負担です。

なお、視察の詳しい所見については、中村のホームページに掲載しております。

ぜひご覧下さい!! 真岡市議会議員 中村かずひこ  
ホームページ

<http://www.i-berry.ne.jp/~tonpei>

なお、Yahoo! JAPANで「中村かずひこ」と検索しても、ご覧いただけます。

## 中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

〔振り込み先〕

真岡信用組合本店 普通口座 2099671  
中村かずひこと未来をつくる会 代表 中村和彦

## 中村かずひこ活動日誌

- 10/1 市政功労者表彰式に出席
- 4 西真岡保育園運動会に出席
- 栃木県女性教育連絡協議会・県央地区研修会に出席
- 6~8 会派視察(大分県豊後高田市、福岡県小郡市)
- 10 『市民の会』定例会に出席
- 13 教育委員歓送迎会
- 15 『311サービス』についての勉強会
- 24 さわやかデイホーム悠々運動会に出席
- 25 真岡中学校『緑が丘祭』に出席
- 『車椅子社交ダンス協会』練習に参加
- 26 大谷地区緑地整備に参加
- 27 『もめん工房』『MOP21』見学
- 29 会派建議要望の回答書受け取り
- 30 『ホンダ栃木ソフト部』についてヒアリング

- 11/11 真岡西小学校を個人視察  
※特殊学級、複数担任制を調査
- 12 福田市長と面会  
※6・9月に質問した案件で意見交換
- 18~19 『清溪セミナー』に参加  
(於:東京都日本青年館)
- 19~20 芳賀郡市町議員研修会に参加(於:藤原町)
- 21 議員協議会  
臨時議会  
政治倫理条例検討委員会
- 22 地方自治を学ぶ会研修(於:今市市)
- 26 議員協議会
- 27 明るい選挙推進大会に参加(於:益子町)
- 28 真岡地区PTA連絡会との懇談会
- 30 福田知事との懇談会に参加

- 3 議員協議会
- 12月議会開会
- 5 一般質問の通告書を提出  
※その後、市の担当部署と内容のすり合わせ
- 8 子育て支援センターを個人視察※「ことばの教室」を調査
- 11 議員協議会  
質疑・一般質問1日目
- 12 質疑・一般質問2日目 ※この日2人目として登壇
- 13 『車椅子社交ダンス協会』練習に参加
- 15 交通安全指導(高間木の交差点)  
文教常任委員会
- 17 『ことばの教室 親の会』にヒアリング
- 18 議員協議会  
12月議会閉会
- 19 教育委員会を傍聴
- 20 『せせらぎ会』ワークショップに参加
- 23 『ホンダ栃木ソフト部 応援団』月例会に出席
- 24 サンタの贈り物事業に参加

- 11/3~6 個人視察(於:大阪府堺市など)
- 11/8~9 大谷『伊夜日子会』研修  
(於:新潟県弥彦神社など)

- 12/1 1年生議員勉強会
- 2 叙勲祝賀会に出席